

広報 かるまい 8

平成24年（2012年）No.641



今月の主な内容

- 農業委員会だより 2～3
- ユイコのケアドー事業 ... 4
- スポーツ結果 6～7

小軽米保育園で7月26日に開催された夕涼み会。夕食は涼しげな流しそうめん。園児たちは流れるそうめんを上手にすくい上げ、喜びの声を上げていました。（9ページに関連記事）

知っていますか？

農地を転用

するには手続きが必要で

【問】農業委員会事務局
(☎46-4739)

農地を、農地以外の用途に使用（農地転用）する場合は、町の農業委員会などへ届出を行い許可を得なければなりません。許可を得ずに農地転用すると、農地法違反となり罰金や懲役などの罰則が科せられます。農地の確保、効率的な利用のためにも、農地転用の際は忘れずに手続きをしましょう。

農地転用とは？

農地を住宅や工場等の建物敷地、資材置場、駐車場、山林等農地以外の用地に転換することを農地転用といいますが、農地を一時的に資

材置場や砂利採取場等に利用する場合も転用になります。

農地転用許可制の目的は

農地は、大切な食料の供給基盤です。一度、農地以外に転用すると元に戻すことがと

ても難しいことから、無秩序な転用を防止し、農地制度に基づいて転用を行う必要があります。農地の計画的、効率的な利用を目的に農地転用許可制度があります。

農地転用許可の手続きは？

転用面積が4畝以下の場合には町農業委員会を経由して県知事へ、4畝を超える場合は県知事を経由し農林水産大臣へ許可申請書を提出します。



農地の計画的な利用のためご協力を

お願いします

転用許可の判断は？

農地の立地条件（生産力の高い農地ではないか）、事業実施の確実性（資力や信用他法令の許認可見込みがあるか）、周辺農地への影響（土砂流出、日照不足を生じさせないか）などの基準から、転用の可否が判断されます。

違反転用などをした場合は？

違反転用したり、許可どおりに転用しなかった場合は農地法に違反することとなり、工事の中止や原状回復の命令がされる場合があります。違反転用や現状回復命令に応じ

ない場合は、罰則が科せられないこととなります。

農地転用を計画している方は

農地の転用を計画する場合は、工事を始める前に許可

全国農業新聞を購読しませんか？

全国農業新聞は、農政の動き、経営・技術、農村生活や、地域の元気で特徴ある明るい話題や地域独自のイベント情報など農業経営や暮らしに役立つ情報を掲載しています。

週刊誌としての特徴を生かし、ニュースは週単位に見やすく整理しており、「健康」「趣味」に関する内容も充実し、家族で楽しめる紙面になっています。

購読希望の方は、地域の農業委員または町農業委員会までお申込みください。



・発行日：毎週金曜日
・購読料：1カ月600円

◆違反転用などへの罰則

違反転用	罰則
1. 違反転用	3年以下の懲役または300万円以下の罰金（法人は罰金1億円以下）
2. 違反転用原命令の回復に違反	3年以下の懲役または300万円以下の罰金（法人は罰金1億円以下）

を受けなければなりません。農地ではないかと思っている土地でも、地目が農地として残っている場合があります。農地かどうか必ずご確認ください。

農業者年金

老後の安心に加入しませんか？

●誰でも加入できますか？

国民年金の第一号被保険者で年間60日以上農業に従事する60歳未満の方なら、どなたでも加入できます。農地の所有や性別は問いません。

●保険料はいくら？

自分の目標年金額に向けて、自分で保険料を決められます。月額2万円から6万7千円の間で、千円単位で自由に決められます。また、いつでも見直すことができます。

●脱退したらどうなるの？

脱退一時金は支給されますが、支払った保険料は、加入期間にかかわらず将来年金として受け取れます。また、脱退後の再加入もできま

●年金は生涯支給される？

平成14年からスタートした、積立方式の「新農業者年金」は農業者の方であれば広く加入できます。自分が積み立てた保険料と、その運用実績により年金額が決まる確定拠出型の年金です。

●農業者年金のメリットは？

支払った保険料は全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税効果につながります。また、認定農業者で青色申告をしたいるなど、農業の担い手となる方は国庫から月額最高1万円の保険料補助を受けられる場合があります。

各地区の担当農業委員または農業委員会事務局へご相談ください

(役場・産業振興課内 TEL 46-4739)

- 農地の売買・貸借、後継者相談
- 認定農業者への農地利用集積、経営改善支援
- 農地パトロール
- 農業者年金の加入相談
- その他農業・農業者に関する情報提供 など

担当委員	電話	担当地区	担当委員	電話	担当地区
中里 宜博	46-3537	蓮台野 門前 桜山 荒町 大町 仲町 本町 上・下新町 元屋町	中里 三雄	45-2722	蜂ヶ塚 米田 牛ヶ沢 民田山 米田久保
中里 昭夫	46-3194	長倉 軽米駒木 新大鳥 向川原	清藤 秀則	45-2030	河北 上・下河南 沢田 松ノ脇
寺澤 正幸	46-3730	上・下尾田 苅敷山 向高家	井戸潤春男	45-3661	八木沢 屋敷 小玉川 市野々
内澤 初蔵	46-2420	小松 高家 西里 外川目 君成田	古里 典子	47-2105	上・下晴山 内城
山田 一夫	46-3580	山田 仲軽米 岩崎 萩田 新光団地 緑ヶ丘	畑山 勲	47-2737	沼 早渡 竹谷袋 山内駒木
日山 一夫	46-3271	車門 戸草内 上・下増子内 沢里 上館	福田 光雄	47-2305	上・下野場 横枕
鶴飼 榮一	45-3150	高柳 鶴飼 笹渡 百鳥 七ツ役 目目金	古館 久	47-2966	高清水 観音林東・西・南・北
泉山 和彦	45-2020	板橋 下円子上組・下組	下谷地敦雄	47-1637	山口 貝喰 上・下谷地渡 山内久保 中村
西館 徳松	45-2743	蛇口 大沢 上円子	小西 寿	47-1059	平 和当地 東 新井田 駒板 大清水 東台

軽米中キャリアスタート
大崎浩弥 くん



(ひめがもり牧場)
家でも酪農の仕事をしていますが、ほかの農場での仕事は初めてで緊張しました。今回の体験を通して、将来、酪農の仕事もやってみたいと思いました。

久保龍斗 くん
(軽米町産業開発)



エゴマのオーナーになっている人たちの名札をつくり、エゴマ畑に設置しました。軽米町の特産品であるエゴマをもっと都会の人にも知ってほしいと思いました。

小軽米中キャリアスタート
堀田沢美香 さん



(小軽米保育園)
子どもが好きで小軽米保育園を選びました。着替えの手伝いやトイレの掃除などを体験。子どもと遊んでいるときが楽しかったです。

木戸口洋輝 くん
(ヤマト運輸)



メール便のバーコード読みや配達の仕事をしました。配達の仕事では、配達先でお客さんから話しかけてくれたりと、接客するのが楽しかったです。

自分の将来を考え仕事を体験

軽米中学校の2年生57人は7月2日から6日まで、小軽米中学校の2年生15人は7月9日から13日まで、町内の事業所などを訪れ職業体験学習を行いました。また、軽米高校の2年1組と2組の生徒43人は、7月23日から27日にかけて、将来を考え就業体験をするインターンシップを行いました。役場の総務課と教育委員会で仕事を体験した山下礼央君(軽米高2年)は、同級生の仲間の就業体験を取材しました。



脇山莉菜さん
(コメリ軽米店)

人と優しく楽しく接客することが大切なのだと思います。私が店の品だしをしているときに、お客さんが笑顔で声をかけてくれました。このとき、私はとても嬉しかったです。だから私は「笑顔で接客すること」を大切に生活していきたいです。



山田健太くん(写真前列右)
(玉館重機建設)

ねじ止めやくぎ打ちをしました。細かい作業は苦手だけど、慎重に間違えないように取り組みました。

日山将太くん(写真後列左)
(玉館重機建設)

この体験を通して、「何事においても慎重に、かつ正確に物事をこなすこと」が大切なことなのだと感じました。

僕が取材しました



山下礼央くん

3日間で広報の取材やパークゴルフ場の受付などをしました。どの仕事も熱意を持ってこなすことが大切なんだと感じました。僕もこれからの生活では何事にも熱意を持って、部活や勉強に励んでいきたいです。

協働

結いの精神のまちづくり

ユイコのケアドー事業



7月22日
高清水地区
約四十人参加

高清水行政区(山野下誠区長)では七月二十二日、町道から墓地へ続く道路二百七十メートルの簡易舗装を行いました。舗装作業には地域住民ら約四十人が参加。アスファルト切削材を使用した簡易舗装が



高清水行政区では住民ら約40人が参加

施され、きれいに整備されました。

7月26日
東地区
十七人参加

東行政区(下井戸一郎区長)では七月二十六日、町道から墓地へ続く道路五十三メートルの簡易舗装を行いました。舗装作業には地域住民ら十七人が参加。アスファルト切削材を使用した簡易舗装が施され、きれいに整備されました。



でこぼこだった道路も整備され使いやすくなりました

7月29日
竹谷袋地区
二十五人参加

竹谷袋行政区(下井戸一郎区長)では七月二十九日、町道から墓地へ続く道路約百四十四メートルの簡易舗装を行いました。舗装作業には地域住民ら二十五人が参加。アスファルト切削材を使用した簡易舗装が施され、きれいに整備されました。



144坪にわたり道路を整備した竹谷袋行政区

ユイコのケアドー事業とは？

地域住民が自主的・主体的に実施する道路整備に対し町が必要な支援を行う事業。機械借上料、原材料費などについては、100万円を上限に予算の範囲内で町が支援。地域の皆さんの費用負担はなく、労働力を提供していただく。「ユイコ」とは「結い」のことで互いに力を貸し合う意味。「ケアドー」とは「道路」という意味。町民の皆さんと行政が力を合わせて道路を整備する事業。

小学生陸上競技交流大会岩手県大会ソフトボール投げ競技

横井内祐生くん（軽米小）が優勝 全国への切符をつかむ



中野教育長のもとに全国大会出場の報告に訪れた横井内祐生くん（6年、左から2番目）

第28回全国小学生陸上競技交流大会岩手県大会が7月15日に北上総合運動公園で開催され、ソフトボール投げ競技に出場した横井内祐生くん（軽米小6年）が見事、優勝を飾りました。8月25日、横浜・日産スタジアムで開催される全国大会へ出場します。横井内くんは、二戸地区大会を県大会出場選手の中で1位の記録で通過。県大会での投球順は地区大会の成績で決められ、一番最後となりました。

第1投目の記録は、71.03で暫定2位。1位の選手との差はわずか0.16。逆転を狙った2投目では70.42と記録更新なりませんでしたが、あとがなくなり、最後のチャンスとなった3投目に勝負強さを発揮。自己ベストの72.13という記録で見事優勝。横井内君は「全国大会では、75以上以上の記録を出して、ベスト8を目指す」と全国大会での活躍を誓っていました。



古舘文明さん(25歳、萩田)

県民体育大会相撲競技

古舘文明さんが準優勝

第64回岩手県民体育大会の相撲競技が7月7日に県営武道館相撲場で開かれ、古舘文明さんが準優勝に輝きました。予選トーナメントを全勝で通過した古舘さんは決勝へ進みました。8人の総当りの成績で順位が決定する決勝では、6勝1敗と好成績を残しました。

小学3年生のころにクラブの監督をしていただいたお父さんの影響から相撲を始めたという古舘さん。中学卒業後は浄法寺高校「大東文化大学」と進学。現在も二戸市にある榊夢実耕望の実業団選手として活躍しています。「今の夢は国体に出場して活躍すること」と語る古舘さんは、国体出場の選考基準となる岩手県選手権大会に向けて練習に励んでいます。

高校ゴルフ選手権東北大会

岩谷佳奈さん 全国大会へ

全校高校ゴルフ選手権東北大会が6月13日と14日、八戸カントリークラブで開催され、軽米高校3年の岩谷佳奈さんが5位に入賞しました。8月5日から三重県で開催される全国大会への出場権を獲得しました。

1日目は、スコア75と2位につけて順調に滑り出した岩谷さん。しかし、「優勝を意識してしまつた」という2日目。思うようにスコアを伸ばせずにスコア81で終了。5位



岩谷佳奈さん(3年)

タイに順位を落としながらも見事全国大会の切符を手に入れました。全国大会に向け「自分を信じてプレーするしかない。ベストスコアを出して、ベスト16に入りたい」と気持ちを新たにしています。

第64回岩手県民体育大会のやり投げ競技が7月7日に、県営運動公園陸上競技場で開催され、高校生の部に出場した軽米高校の圃田直哉くん（2年）が51.67という自己ベストを更新する記録で見事4位入賞を果たしました。

県民体育大会やり投げ競技

圃田くん4位入賞



圃田直哉くん(2年)

来年はインターハイに出場したいという圃田くんは「結果を出すには、量・質ともにレベルの高い練習をしなくてはいけない。忍耐強くがんばりたい」と次の目標に向け練習に励んでいます。

（株）岩手富士が町に電気自動車を寄贈



（株）岩手富士（堤繁社長）は7月17日、電気自動車を町に寄贈しました。町役場で開かれた贈呈式に出席した同社の堤副会長は「操業から36年間は経過しましたが、長年の感謝の気持ちをこめて寄贈します」と車のキーと車検証を手渡ししました。

（株）岩手富士データ
1976年に町内4社目の誘致企業として操業
従業員数：78人
制御リレー・マグネットコンダクターを製造

Aブロックは蓮台野・門前が優勝

第34回町総合体育大会パークゴルフ競技
(7月8日・ハートフルスポーツランド)

町内から18チーム約150人が参加し、熱戦が展開されました。各ブロックの上位結果は次のとおりです。(○に数字は順位)

- 【A】①蓮台野・門前 ②桜山 ③上新町
- 【B】①上館連合 ②萩田 ③晴高
- 【C】①大町・元屋町・仲町 ②山内 ③荒町



熱戦が展開された町総体パークゴルフ競技



火の神様からもらった火を新しくする園児たち

家族一緒に夏を楽しむ

小軽米保育園で夕涼み会

小軽米保育園（兼田英明園長、園児39人）で7月26日、園児や保護者、近隣住民ら約100人が参加して夕涼み会を行いました。キャンプファイヤーでは、火の神様から火の便利さや怖さについて話を聞き「よく考えて行動できる火」や「ともだちを大切に元気に遊べる火」など3つの火をもらいました。火を大切に使うことを誓った園児たちは、保護者らと火を囲み、歌やフォークダンス、花火を楽しみました。

図書館の仕事を体験

子ども司書講座

読書活動を推進する子どもリーダーを養成することを目的とした子ども司書講座の開講式と第1回講座が7月14日、町立図書館を会場に行われました。開講式では受講生を代表して馬場輝くん（軽米小6年）が「図書館の役割と司書の仕事を学び、子ども司書として読書活動のリーダーを目指します」と誓いの言葉を述べ、開講式後の第1回講座では、本の分類の仕組みや図書館のカウンター業務を体験しました。



本の貸し出し業務を体験する子どもたち



2日間の交流で友情を深めた

野球を通して深めた絆

天穂中・普代中と野球交流

町内3中学校と被災地である大槌中学校・普代中学校との野球を通じた交流を図るを目的に大槌・普代・軽米「絆プロジェクト2012」（町野球協会、町内中学校野球部父母会主催）が7月28日、29日の両日に開催されました。2日間にわたり試合形式の練習会が行われ、お互いの技能を高めました。また、28日の夕方には交流会が開かれ、生徒たちはバーベキューを囲みながら親交を深めていました。（14,15ページに関連写真）

介護の大切さを実感

ふれあい体験学習

小軽米中学校（菊池克幸校長、生徒数39人）の3年生15人は7月10日と12日の両日、花の里かるまいでふれあい体験学習を行いました。生徒たちは、リハビリ体験や利用者や折り紙などを行う交流体験を行いました。12日には、えんぶりや伊勢音頭、合唱を披露しました。体験をした工藤昌俊君は「高齢者のみなさんを支える介護の大切さを実感した。また、利用者のみなさんと笑いながら会話することが楽しかった」と感想を話しました。



利用者に合唱を披露する生徒たち

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

環境体験学習「エコキャンドル作り」がふれあい交流館で開かれ、17人が参加しました。ピンなどにタコ糸をたらし、割りばしで固定し、凝固剤やクレヨンなどを混ぜた廃油を流し入れ、15分ほど待つとオリジナルのキャンドルが完成しました。



世界にたった一つのキャンドル作り

安全な日常生活のために

高齢者交通安全教室

高齢者自転車マナーアップ教室とシニアカー安全教室が7月4日、軽米町防災センターを会場に開かれました。高齢者の交通事故防止のために行われた今回の教室には、16人が参加。交通安全に関するビデオ上映や講話のほか、交通指導隊の指導のもと、自転車の点検の仕方や走行時のマナーについて学びました。受講した原新吉さんは「事故を起こさないためにも、これからはしっかり安全確認をしたい」と交通安全を誓いました。



交通指導隊に走行中のマナーを学ぶ受講者



蔵の暖かな雰囲気の中が作品が展示されました

力作43点が来客を魅了

第3回遊画会展

第3回遊画会展が7月6日から8日の3日間、町立図書館となりの蔵で開催されました。町文化協会絵画クラブ遊画会（丹下美恵子代表）のメンバーが日頃の創作活動で描き上げた水彩画や油絵43点を展覧。展示された作品を見学した来客は会場に設置された感想ノートに「どの作品も素晴らしい」「会場の雰囲気もよい」「表現力が素晴らしい。これからもがんばってほしい」などと思いの感想を書いていました。

あまくておいしいーい

ブルーベリー摘み取り園開園式

町内のブルーベリー生産者で構成する町ブルーベリー摘み取り園ネットワーク（追出町俊一会長）は7月23日、摘み取り園の開園式を行いました。追出町会長の園地で開かれた開園式には軽米保育園の園児が招待され収穫を体験。ブルーベリーのおいしさに口元をほころばせていました。追出町会長は「町内外に情報発信をして、みんなで盛り上げていきたい」と意欲をみせていました。摘み取りは町内4農園で8月中旬まで楽しめます。



園児たちは食べ頃の実を選びながら摘み取りを楽しみました

笑顔あつまれ！ みんなの広場

夢・希望・えんぴつ



晴山小学校6年
なり
ま
ま
真成 さん
（横枕）

開校当時、4年生だったわたしたちも今、6年生。今年わたしたちが全校を引っ張っていく番になりました。はじめは、今までの卒業生のようにできるかなと不安でしたが、色々な行事を成功させていくにつれ、みんなすっかり6年生らしくなってきたと思います。

5月の運動会では、並び方や応援係の仕事など、下の学年に指示を出したり、お手本を見せたりすることが出来ました。高学年の組体操は、大成功し、お昼にもどったら、家族が泣いていて、わたしも

最高学年として

うれしくて、涙が出そうでした。

6月の修学旅行では、仙台・松島・平泉に行き、その行く先々で、マナーを守り、自分から進んであいさつをする、ことが出来ました。あいさつは晴山小の自慢です。その晴山小の顔であるわたしたちが、修学旅行先で、「あいさつが良いわね」ほめられたことがうれしかったです。最高学年としてまだ足りないところのありますが、全校のリーダーとして、この自覚や自信を持って、これからもがんばっていききたいと思っています。



まさとし
田屋 将俊 さん
（25歳、沢里）
身長182cm、O型
日清医療食品勤務

夢は人が元気に過ごすサポートをし続けること

岩泉町出身の田屋さん。現在は日清医療食品（いちい荘内）で栄養士として働いています。

Q、現在の職業を選んだのは？
食への事が好きで料理もちよつと好きだったのでこの分野に進みました。

Q、自分の性格を一言で言うことは？
こだわりが強く、一方でハマれば愛着を持つが、ハマらなければすぐあきらむ極端さがある。

Q、趣味や休日に行きたいことは？
二輪のモータースポーツ「トライアル」が好きです。あとは年数回、日本海に船釣りに行きます。

Q、あなたの夢は？
これからもつと知識をつけて、

そのスキルを生かせる場所で働きたい。元気に過ごすサポートをし続けることが一生の夢です。

Q、町をどう思いますか？
光ファイバー通信が可能な整備が敷かれていて、岩泉よりすごいと思います。雑穀文化とたばこポップの畑が印象的。

▼好きなスポーツ：毎週町体でバレーボールをしています。

▼好きな色：白

▼好きな花：サクラの花

▼好きな食べ物：ソバや天ぷら

▼欲しい物：長期休暇とかいい嫁さん

▼理想の異性のタイプ：明るく朗らかで優しく気立てのいい人。外見では女優の長澤まさみさんみたいな人です。

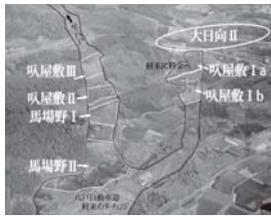
これらを詳しく分析すると、概ね次のような傾向が伺えました。

①Ia遺跡南西に縄文時代中期末葉（約4千年前頃）の「大木9式」という土器形式の土器を持つ住居が7棟まとまって集落をなしてお



今回は「大日向遺跡群」の一角、吹屋敷I遺跡を紹介します。

吹屋敷I遺跡は遺跡群の中央東寄り、大日向II遺跡の国道を挟んだ西側に位置します。現在の軽米インターチェンジ入口より料金所、そして本線へ上る坂道付近にあります。高速道建設に伴い昭和55年～56年に約2万6千㎡が発掘調査されました。



大日向遺跡群の立地（南西上空から撮影）
写真提供：（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化センター

遺跡は東西約400m、南北約100mに広がり、東側をIa遺跡、西側をIb遺跡と分かれています。

遺構は縄文時代の竪穴住居跡が計44棟、土坑12基、陥し穴状遺構11基のほか、古代（奈良・平安時代）の竪穴住居跡も9棟発見されています。

④縄文時代後期～晩期の竪穴住居跡は5棟あるがまとまりはなく、各時期に単独で建てられていた可能性が高い。

土器などの出土遺物や遺構には目立った特徴はありませんが、縄文時代中期末葉の頃に、新しい集落が古い集落を離れた場所に造られるという傾向を伺い知ることが出来る良い例となりました。

（教育委員会学芸員 藤田直行）

今月の俳句（北光吟社 6月例会会）

芍薬の白の身頃を供華に剪る
三上千栄女

山峡の青田色のる故郷かな
中野とき

満開の薔薇に無常の雨続く
川崎郁子

シルバーカー母に似て来し田水見
千葉紅園

五月閑遠く近くに鳥の声
中田紀子

夏至となり稲の分けつ真盛り
端川石造

産直の呼声で買う青すぐり
早川慶子

溪流にせまる岩肌緑濃く
丹下美恵子

梅雨ぐもり距離を伸ばしてウォーキング
川島由蔵

新道の貫通鶯老を啼く
松村英子

※町文化協会「北光吟社」の例会会より俳句を紹介しています

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所 (☎46-2004)

～心がけて、災害の被害を減らすことは可能です～

災害が発生したとき、あなたはどうしますか？災害に備えた日頃からの防災に対する意識と準備が大切です。

地震が発生！

- 家の中にいたら・・・
 - ・まず火の始末。ガスの元栓も締めましょう。
 - ・落下物や家具の転倒、ガラスの破片に注意！机やテーブルの下などへ避難する。
 - ・あわてて家を飛び出さない！外には危険がいっぱい！
- 自動車を運転していたら・・・
 - ・交通の支障にならないよう道路左側に車を寄せる。
 - ・渋滞が予想される場所へは車を運転して避難しない。避難は、必ず徒歩で。
 - ・ラジオなどで地震情報を得ましょう。

集中豪雨！

- ・テレビやラジオなどで気象情報を確認しましょう。
- ・浸水に備えて家財道具は安全なところへ。
- ・危険な土地では、いつでも避難できる準備を。
- ・非常持出品の用意を忘れずに。

6月の事故と救急の数字

	当月	累計	昨年比
人身事故	1件	5件	-1
死亡者	0人	0人	±0
負傷者	1人	5人	-1
物損事故	9件	79件	+15
救急車出動回数	21回	205回	+23

▶(累計)は1月からの合計
※見直しにより前月の数値と異なる場合があります
▶今月の飲酒運転検挙者はありません



健康福祉課 (☎46-4111)

「予防接種を受けましょう」



健康福祉課
主事
玉館 博一

皆さんは、なぜ、予防接種が必要かご存知でしょうか。それは、感染症にかかると重症化したり、後遺症が残ったり、時には命に関わる場合もあるといわれています。予防接種は、ワクチン(病気の原因となるウイルスや細菌の毒素を弱めるなどして作ったもの)を接種することで、その病気に対する免疫力をつけ、その感染症にかかるのを防いだり、かかっても重

症化を防ぐために行うことです。なお、予防接種には、法律に基づく定期接種と本人の希望により行う任意接種がありますが、定期接種には、接種年齢や回数など決まっていますので、母子手帳を確認して、接種もれのないように注意しましょう。予防接種は、自分自身や家族の健康を守るために必要なものですので、忘れずに受けるようにしましょう。

Sarunashiwine nouveau

好評発売中

きるなしワイン

容量 720ml 1,292円

期間限定醸造

(問) 軽米町産業開発 (TEL 46-4222)

ワイだるまひえのぶっかけンバがたぞワイ!

ダッタンそば粉入り

「そばかけピザ」

軽米土産アリマス

雑穀弁当・仕出し・宴会

食事処 内まる屋 (TEL 46-2318)

※広報かるまいでは、町内の業者などからの広告を掲載しています

軽米病院だより

岩手県立軽米病院 (☎46-2411)

救急蘇生法の普及を

以前、「近くの人だったら助かったかもしれない」と思うことがありました。夜間、腹痛のため急患で来た患者さんに胃薬を出して翌日の検査の予約をして帰したのですが、家に着いてしばらくして胸が痛くなり、救急車で再受診したときは心停止状態で回復しませんでした。腹痛は心筋梗塞の前ぶれだったのです。患者さんの家は救急車で往復40分かかる所でした。

最初に受診したときに心電図をとればわかったかもしれない。もし救急車がすぐ行ける所に住んでいれば早めに蘇生術が出来て助かったのではないかと、などいろいろなことが頭に浮かびました。

近くの人が助かって遠くの方は助からないの

は不公平と思います。これを少しでも解決するには救急蘇生法の普及がいいのではないかと考えました。倒れてすぐに近くの人が救急蘇生を始めれば、救急隊が到着するのに多少時間がかかっても助かる確率は高くなります。特に消防署から遠い地区から救急蘇生を普及する必要があります。

軽米病院では、毎年10人程度の職員を救急蘇生の講習会に出しており、院内のどの部署で倒れても蘇生できるようにしています。ゆくゆくは軽米病院の職員は誰でも救急蘇生ができるようにし、職員が住む地区の方々の力になれるようにしたいと思っています。また、今後住民の方々への普及活動も行っていきたいと考えています。(院長 横島孝雄)

図書館だより

町立図書館 (☎46-4333)

— 今月の新刊 —

【児童書】

なつやさいのなつやすみ



(ひかりのくに)

作/林 木林
絵/柿田ゆかり
なすくん、オクラくん、とうもろこしくん、ゴーヤくん。なつやさいたちが夏休みにプールに行く相談をはじめました。言葉遊びも楽しい絵本。

知って楽しい 花火のえほん



(あすなろ書房)

作/冨木一馬
「花火はどうやって作るの?」「打ちあげ方は?」「どんな種類があるの?」花火にまつわる素朴な疑問に答えます。花火を見るのが100倍楽しくなる一冊。

本であそぼう! 全国訪問あはなし隊

日時: 8月19日 10:00~11:00 対象: 幼児~小学生
場所: 町立図書館前広場・蔵

【一般書】

つなみ 被災地の子どもたちの作文集 完全版



(文藝春秋)

編/森 健
東日本大震災の被災地一岩手・宮城・福島の子どもの115人の作文集。あの日、子どもたちが自分の目で、耳で、肌で体感したことを自らの言葉で表現した。

浪花少年探偵団 新装版



(講談社)

著/東野圭吾
「困ったことがあったら、相談しなさい」小学校教師の竹内しのぶが、教え子たちを引き連れて探偵ごっこを繰り広げる痛快シリーズ。

8月 August

16	木	
17	金	生活習慣病教室【ふ】13:30~14:00
18	土	
19	日	本とあそぼう！全国訪問おはなし隊【図】
20	月	寿大学⑤【栗】10:00~ 郷土再発見③【ミ】12:00~
21	火	
22	水	3歳児健診【ふ】13:00~13:30受付 ピヨピヨ教室【青少年ホーム】10:00~12:00
23	木	うまっこ教室【ふ】9:30~12:00
24	金	
25	土	
26	日	第34回町総体・軟式野球競技【ハ他】 第26回並岡旗争奪軽米町少年剣道大会【体】 夜間・休日の納税相談【役場務務課】(～28日)
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	町税の納期(町民税2期、国民健康保険税2期)

9月 September

1	土	
2	日	子ども会ソフトボール大会【ハ】
3	月	
4	火	
5	水	乳児健診【ふ】13:00~13:30受付
6	木	孫による認知症講座【軽米小】10:35~11:20 書道教室⑩【図】14:00~16:00
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	軽米秋まつり・お通【町中心街】15:00~ 町敬老会【体】10:00~

(カレンダー中の【 】は開催場所下記のとおり表示します)
 体:町民体育館 環:農村環境改善センター 公:中央公民館
 図:町立図書館 病:県立軽米病院 ふ:健康ふれあいセンター
 老:老人福祉センター プ:雪谷川ダムフオリストパーク・軽米
 ミ:ミレットパーク 歴:歴史民俗資料館 ハ:ハートフル・ス
 ポーツランド 運:町営運動場 ゲ:ゲートボール場

スナッフ写真館

大槌中・普代中との野球交流会
(7月28日~29日)



熱戦を繰り広げた2日間

お知らせ
情報
Information

第2回岩手中小企業
合同就職説明会を開催

日時: 9月3日(月)
13:00~17:00(受付12:00)
 ▼場所: 岩手県民情報交流センター・アイーナ
 ▼内容: 県内の求人中小企業による戸別面談・就職相談(約15社)、岩手中小企業就職センター試験の概要説明など
 ▼対象: 平成25年3月までに卒業予定の大学生、短大生(既卒3年以内を含む)
 ▼申込: エントリー方法は県中小企業団体中央会ホームページをご覧ください。
<http://www.ginga.or.jp/>
 【問い合わせ先】統括指導センター(☎019-624-1363)

海外から引き揚げた方
通貨などお返しします

税関では戦後、海外から引き揚げてきた方々からお預かりした、次の通貨などをお返ししています。
 ▶戦後に海外から引き揚げてきた方が、上陸地の税関、海運局に預けた通貨・証券など
 ▶帰国前に樺太、満州にあった在外公館、日本人自治会に預けられた通貨・証券のうち日本に返還されたもの
 ※返還の申し出は、本人のほか家族の方もできます。お心当たりの方は最寄の税関へお問い合わせください。
 【問い合わせ先】八戸税関支署(☎0178-33-0423)

内科(9:00~17:00) 休日当番医 歯科(9:00~12:00)

小野寺クリニック (☎46-2822)	軽米町門前 8月19日(日)	堀米歯科医院 (☎46-2927)	軽米町本町
おりそ内科循環器クリニック (☎22-2251)	二戸市福岡 26日(日)	渡辺歯科医院 (☎23-2052)	二戸市堀野
浄法寺診療所 (☎38-2021)	二戸市浄法寺 9月2日(日)	宮沢歯科医院 (☎46-2953)	軽米町元屋町
松井内科医院 (☎33-2201)	一戸町一戸 9日(日)	奥中山高原歯科クリニック (☎35-2951)	一戸町奥中山



交流会では学校を超えて友情を深めました



別れた後もそれぞれの地元で活躍することを誓い合う



2日間は生徒たちにとって大切な思い出になりました

岩手県司法書士会による
相続に関する無料相談

【実施機関】8月1日~31日
 【常設相談】県下各会員事務所(土日を除く)
 【電話相談】0120-823-815(フリーダイヤル)
 ※10時~13時(土日、13日から16日を除く)
 【相談内容】相続手続きに関する相談
 【問い合わせ先】岩手県司法書士会事務局(☎019-622-3372)

就農相談会を
開催します

▼日時: 9月1日(土)
13:00~16:00
 ▼場所: 二戸広域観光物産センター カシオペアメッセ・なにやーと 3階会議室
 ▼参加対象者: 農業に興味・関心がある人
 ▼相談内容: 就農地域・場所、農地の確保、資金の調達、就農研修、研修施設および技術 其他就農にあたっての必要事項など
 【問い合わせ先】二戸農業改良普及センター(☎0195-23-9208)

軽米地区農公所
合同一般公開デー

▶日時:
8月31日(金)10時~16時
 ・県北広域農業技術セミナー
 ・畑地かんがいの実演など
 9月1日(土)9時~15時
 ※試験圃場の公開(団体で希望する場合は8月24日までにご報告をお願いします)
 ・新品種の紹介、試食
 ・農産物の販売、収穫体験など
 ▶場所: 県北農業研究所
 【問い合わせ先】県北農業研究所(☎47-1070)

二戸消費生活センター
消費生活相談のご案内

平成24年9月の相談日は次のとおりです。予約制となっていますので電話でご連絡のうえお越しください。
 ◎法律相談
9月12日(水)、25日(火)
 ◎お金と暮らし相談
9月7日(火)
 ◎多重債務相談
9月18日(火)
 ※場所: 二戸消費生活センター(二戸地区合同庁舎内)
 【申し込み・問い合わせ先】二戸消費生活センター(☎23-5800)

東日本大震災被災者支援活動を応援します

町では、町民等が自主的に行う東日本大震災の被災者の復興支援活動に要する経費に対して予算の範囲内で補助金を交付します。
 【対象者】被災者・被災地の復興支援を行う次に掲げる団体等
 ①町内に住所を有する者が半数以上で構成する団体等(町内で主たる活動を行う者に限る。)
 ②町内に事業所を有する法人または事業主
 【補助額】1補助対象者につき年1回50万円を限度とし、1,000円未満の端数は切り捨てた額とします。
 【対象事業】①被災地の復旧又は復興支援を目的とする事業
 ②被災者の心身のケアを目的とする事業
 ③被災者との交流を目的とする事業
 ④その他の事業で町長が特に必要と認める事業
 【問い合わせ先】役場総務課(☎46-2111)

もしもの時に備えてますか?

3,000×80回で大きな安心 玉姫グループ互助会 会員募集中

宿泊室完備...24時間いつでも病院から直接入室できます。
 お年寄りの方や、お体の不自由な方にも対応したバリアフリー施設です。
 玉姫グループ
 葬儀・法要専門会館

軽米セレモニーホール眞照堂

24時間受付 電話46-4109 岩手県九戸郡軽米町大字上箱15-130-1

※広報かるまいでは、町内の業者などの広告を掲載しています



好評発売中

軽米町産さるなし100%使用
さるなしの雫

(甘口、リキュール)

500ml ¥1,260 (税込み)

販売元・お問い合わせ
 リカー&フーズこぼやし(TEL46-2059)

広告募集中

広報かるまいでは、町内業者などからの広告を募集しています。現在1枠を募集しています。
 広告掲載料: 4,000円/月
 (6カ月以上掲載の場合は3,000円/月)
 詳しくは、下記までお問い合わせください。

(問) 役場総務課企画グループ(☎46-2111)

(広告スペース)

(広告スペース)



冠婚葬祭 6月分
〈敬称略〉

おめでた () 内は父母の名

長 倉 松長根 志乃 (健一・恵)
下新町 於 本 陽真 (裕貴・結香)
大 町 鹿 糠 凜太郎 (慎享・瞳)
笹 渡 田 中 蒼大 (大祐・ユミ子)

おしあわせに

{ 戸草内 保 (上増子内)
新 田 直 美 (洋野町)
{ 向屋敷 和人 (笹 渡)
田 畑 美 幸 (二戸市)

おくやみ () 内は享年

向川原 高 田 仁太郎 (84歳)
上 円 子 宮 川 マ サ (81歳)
蓮 台 野 追出町 ト シ (90歳)
下新町 西 山 三太郎 (86歳)
蓮 台 野 櫻 田 カ ヲ (80歳)
蛇 口 蛇 口 静 子 (64歳)
山 田 工 藤 竹 藏 (90歳)
大 町 堀 米 昭 三 (84歳)
中 村 木 戸 吉 男 (72歳)
蓮 台 野 齋 藤 養 三 (92歳)
上谷地渡 引 木 トミエ (74歳)
門 前 皆 川 タカノ (82歳)
上 河 南 玉 田 ミ ヤ (80歳)
大 清 水 古 谷 ミ ヤ (78歳)
沢 里 内 澤 隆 (47歳)

※お名前が俗字であっても正字で記載される場合がありますので、ご了承ください。

わ・がるまい 23



郷土民謡研究会「北栄会」(田代金蔵会長)は、現在町内外の会員13人で活動しています。歌や踊りが好きな仲間たちが集まって出来た同会は結成してから33年。仲間との絆が自慢で、お客様に見せるからには、大きな拍手をもらえることを目指して、日々の練習に励んでいます。また、新たな仲間も募集しています。歌や踊りが好きな人ならどなたでも歓迎です。一緒に楽しみましょう!

【問い合わせ先】軽米中央公民館 (☎46-4151)



我が家の人気者
あこやがさん

将来の夢は2人ともプリキュアになりたいそうです。どちらも喜怒哀楽が激しく、毎日大騒ぎ(笑)

(両親から一言)

いっぱい食べて、いっぱい遊んで、大きくなって☆

右) 中里 望心 ちゃん (3歳3ヶ月)
左) 愛心 ちゃん (2歳1ヶ月)

愛称: もこ、あこ

(上尾田) 祐輔さん・絵美さんの長女、次女

●人の動き <平成24年6月30日現在/町民生活課調べ>

男 5,104人(-6) / 女 5,301人(-6)

合計 10,405人(-12) / 世帯数 3,778(+4)

※() は前月比

転入 8人(115人) / 転出 8人(110人)

出生 4人(19人) / 死亡 16人(75人)

※() は1月からの累計

ほっとひといき / 編集後記

7ページに掲載しました岩手富士様から寄贈していただいた電気自動車は町内の用務に利用させていただいています。私もさっそく取材に使わせていただきました。パワーもガソリン車と遜色なく静かで乗り心地抜群です。岩手富士様ありがとうございました。

スポーツ選手の活躍が多くみられた今月号の広報。まだまだインタビューには慣れていない私。緊張しながら質問すると、皆さん自信の持った声で自分の目標や夢を話してくれました。私も負けないように読みやすい親しまれる広報を目指します。(関向)